

## 【2011 年度 研究委員会成果報告】

# 室内のにおい評価・制御研究委員会 報告書

人間－生活環境系学会・室内のにおい評価・制御研究委員会

### 1. 委員会設置の目的

本委員会の設置の目的は、室内のにおい評価とその方法について検討し、不快なにおいを適切に制御する方法を検討することである。

室内のにおいについては、外来者は低濃度であっても不快に感じる場合がある。しかし、在室者はある程度のにおいのレベルであっても順応、慣れなどにより不快に感じない場合がある。においを評価する人によって、受け入れられるとするにおいのレベルが大きく異なることがある。そのため、室内のにおいの基準値を設定する際には留意する必要がある。基準値を決定する際には、適用する場所とその場所を使用する対象者によって、許容できるにおいのレベルに差異が生じる可能性があることを考慮する必要がある。

そこで、本委員会では、立場の違いによる室内のにおいの許容できるにおいのレベルの差異を検討し、状況に応じた室内のにおいの基準値を提案するとともに、状況に応じた室内のにおいの評価方法を選択するための基礎資料を収集し、室内のにおいの評価および制御に活用できる資料を整備する。

### 2. 委員会の構成とメンバー

2008年度から2011年度までの委員会の構成メンバーを以下に示す。

委員長：光田恵（大同大学）

幹事：長谷博子（中京大学）

委員：赤沼 友実子（サンスター技研）

委員：板倉 朋世（独協医科大学）

委員：柴田吉見（サンスター技研）

委員：棚村壽三（大同大学）

委員：萬羽郁子（近畿大学）

委員：松尾隆和（大同大学）

委員：向井利佳寿（日本たばこ産業）

委員：村上栄造（朝日工業社）

オブザーバー：今井康治（八千代病院）

### 3. 研究成果報告

2008年度には、においの評価および制御に関する論文、資料を収集し、各委員が分担し、項目ごとにまとめた。2009年度には、その資料をもとに、大同大学で開催されたにおい研究交流会にて「環境たばこ煙のにおいの評価と対策」に関するパネルディスカッション

を行い、環境たばこ煙のにおいに関する研究動向、たばこ煙の臭気成分、たばこ臭に関する感覚評価、たばこの付着臭の特性と対策に関する話題を提供した。パネルディスカッションにおいて出された意見を参考に、さらに検討を行い、その成果を千葉工業大学にて開催されたにおい・かおり環境学会にて発表した。演題は次のとおりである。

主題：環境たばこ煙のにおいに関する研究

その 1 たばこ臭の感覚評価

その 2 たばこ煙の臭気成分

その 3 におい識別装置と感覚評価の関係

その 4 緩和ケア病棟における喫煙環境に関する基礎調査

その 5 車室内のにおいに関する調査事例

また、本委員会で検討した内容の中で、においの評価に関する内容をまとめて、2010年11月に新潟大学で開催された人間-生活環境系シンポジウムにて発表した。演題は次のとおりである。

主題：たばこ臭の評価に関する研究

第1報 喫煙者と非喫煙者の評価

第2報 付着臭に関する機器測定と感覚評価の関係

第3報 環境たばこ煙の臭気成分

第4報 喫煙車のにおいのレベル

室内の様々なにおいに対して検討を行うため、立場の違いにおける許容レベルについて、2011年度も検討を継続し、多くの課題を見出した。これらの課題については、継続して検討することが必要である。

### 4. おわりに

本委員会では、室内のにおいを対象として、評価・制御の視点から検討を行ってきた。2回の延長申請を行い、委員会活動は4年間に及んだ。その間、研究会・学会等で貴重なご意見をいただき、内容を深めることができた。

今後は、室内に限定せず、生活環境全般のにおいを対象として、委員会での活動を発展的に進める予定である。

<連絡先>

委員長 光田 恵

住所 名古屋市南区滝春町10-3

所属 大同大学

E-mail: mitsuda@daido-it.ac.jp